

事例 中学校外国語科（英語）  
1 単元について

E 中学校

対 象 学 年	中学校 第1学年
学 習 指 導 要 領	聞くこと(ウ) 話すこと(イ)
単 元 名	Unit 3 グリーン先生の初授業 (全4時間) NEW HORIZON English Course 1
単 元 目 標	間違いを恐れずに大きな声で、話題のつながりを意識しながら話し続けようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)  伝えたい語に強勢を置き、正しい発音で相手の理解を確認しながら話すことができる。(表現の能力)  強勢、イントネーション等を手がかりに自己紹介の内容を正しく聞き取り、質問に対して適切に答えることができる。(理解の能力)  伝えたい語を強調して話すことや、コミュニケーションを継続したり、内容を深めたりすることの大切さや方法を理解している。(言語や文化についての知識・理解)
配 慮 事 項	基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 ・単元を通して、各単位時間の導入で Pair Talking や「学級のベスト3を見つけよう。」等の課題を位置付けた帯活動を行い、一般動詞やそれを用いた肯定文、否定文、疑問文とその答え方についての習熟を図る。 ・自分の好きなスポーツや持ち物の紹介に使う動詞を必要に応じて導入することで、活動の意欲化を促す。 ・一般動詞を用いた肯定文、否定文、疑問文の語順や発音、区切り、強勢について、教科書本文の音読を通して、繰り返し指導を行う。 ・「自分の考えや気持ちなどが聞き手に正しく伝わる」ためにペアやグループで態度面(大きな声、聞き手を見て、ジェスチャー等)と技能面(発音、区切り、強勢等)から相互評価を位置付ける。 ・各パートの内容を参考にして、自分自身のことを表現する機会を設け、豊かな自己表現につなげる。
参 考 資 料	資料1:(1)学期の評価カードの枠 (2)具体的な1学期の評価カード 資料2:単元評価表(補助簿) 資料3:態度面と技能面のアドバイスカード

## 2 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞く評 価と規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語活動に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的な英語の情報を正しく聞き取ることができる。</li> <li>・初歩的な英語を、場面や状況に応じて適切に聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。</li> </ul>
話す評 価と規 準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちなどを正しく話すことができる。</li> <li>・初歩的な英語を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。</li> </ul>
単 元 の 評 価 規 準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違いを恐れずに大きな声で話している。</li> <li>・話し手の内容に関心をもって質問している。</li> <li>・Pair Talkingにおいて相互に進んで話しかけている。</li> </ul> <p>(コミュニケーションの継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話題のつながりを意識して、内容を深める質問をしたり、一文付け加えたりしながら話し続けようとしている。</li> </ul>	<p>(正確な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい語に強勢を置き、正しい発音で話すことができる。</li> <li>・プラス一文をしたり、強調や区切りを意識したりして言いたいことを正確に伝えることができる。</li> </ul> <p>(適切な発話)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発音、強勢、区切りに留意して、一般動詞を用いた疑問文により、相手が話した内容に質問をしたり、コミュニケーションを進めたり、内容を深めたりすることができる。</li> </ul>	<p>(正確な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強勢、イントネーション、区切りなどを手がかりにして、内容を正しく聞き取ることができる。</li> </ul> <p>(適切な聞き取り)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介に関わる質問に対して適切に答えることができる。</li> </ul>	<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい語を強調して話すという音声の特徴を理解している。</li> <li>・一般動詞を用いた肯定文、否定文、疑問文の語順や文における基本的なイントネーションを理解している。</li> </ul> <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話を反応して聞いたり、質問をしたりしてつなげることによって、対話の内容を深めていくことができることを理解している。</li> </ul>
単 位 時	自分の持ち味を伝え合うという場面で間違いを恐れず	一般動詞を用いた肯定文や疑問文、否定文、命令文に	発音、文強勢、区切りに留意して、一般動詞を用いた	一般動詞を用いた肯定文や疑問文、否定文、命

<p>間における評価規準</p>	<p>に大きな声で英語で話している。</p> <p>好きなスポーツや自分の趣味について、相手の表情を見て話したり、ジェスチャーを交えて問答したりしている。</p> <p>与えられたトピックについて、既習の表現を使って、Pair Talking や自己紹介の活動に取り組んでいる。</p> <p>自己紹介の活動において、つなぎ言葉を活用しながら質問したり、一文付け加えたりして話し続けようとしている。</p>	<p>ついて、発音、強勢、区切りに留意して、正確に話すことができる。</p> <p>好きなスポーツや自分の趣味について、一般動詞を用いた文で話すことができる。</p> <p>好きなスポーツや自分の趣味について、大切な内容を強調して、聞き手に正しく伝わるように話すことができる。</p> <p>質問に対して、その答えに一文付け加えて適切に話すことができる。</p>	<p>文の内容や形態を理解することができる。</p> <p>好きなスポーツや自分の趣味について相手が伝えたい内容を、相手が強調した文や語、ジェスチャー等をもとに理解することができる。</p> <p>相手の話に反応したり、中心となる内容を確認したりして、自分が理解したことを相手に伝えながら聞き取ることができる。</p>	<p>令文の語順（一般動詞の位置）や文における基本的なイントネーションを理解している。</p> <p>相手の話に反応したり、質問をしたりするなどコミュニケーションを続ける大切さやその方法を理解している。</p> <p>伝えたい語や文の内容を強調したり、Look at this!等の相手を引きつけたりする話し方を理解している。</p>
------------------	---	---	---	---

3 指導と評価の計画 (全4時間)

時	ねらい	学 習 活 動	評価規準				評価方法	指導・援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	<p>終末の活動のイメージと単元の概要を理解するとともに、「付けたい力」や自己紹介に必要な表現を知り、単元の目標と学習の見通しをもつことができる。</p>	<p><b>【導入】</b> Greeting  English Songs  Pair Talking</p> <p><b>【展開】</b> モデルとなる自己紹介を聞き、終末の活動のイメージをつかむ。単元の学習の流れを見ながら、「付けたい力」や本時で学習する表現を知る。単元を貫く課題を理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Let's do our self -introductions! ~ 言いたいことを強調したり、文のまとまりを区切ったりして、聞き手に分かりやすく伝えよう。~</p> </div> <p>自己紹介の基本的な表現(教科書)の意味と用法を理解し、発</p>					<p>・活動の観察(態度面と技能面のアドバイス・カードを使用)</p> <p>・活動の観察</p>	<p>・態度面(声量、聞き手を見て、笑顔、ジェスチャー) 音声面(発音、強勢、区切り) 技能面(プラス一文) 一般動詞の疑問文を用いた質問、質問に対する適切な答え等という視点で机間指導を行う。(補助簿の活用)</p> <p>・聞き取った内容のメモを残すワークシートを準備する。 ・個に応じためあてがもてているかという視点で机間指導を行う。(補助簿の活用)</p>

		音練習をする。 【終末】 本単元で大切に する態度や技能 について振り返 る。				・活動の観察	・教科書本文 の音読によ り、文末の イントネー ションの定 着を確認し 個別に教師 のモデルを 繰り返させ る。
2	学級のベスト 3を見つける ために、Do you like~?と いう表現を使 って、相手の 質問に対して 適切に答えたり、相手に質 問をしたりす ることができる。	【導入】 Greeting English Songs Pair Talking  【展開】 学習課題を提示 する。  Let's find the best 3 in this class! ~ 仲間にインタビ ューをすることを通し て、相手の質問に対 して適切に答えたり、 相手に質問をしたり しよう。~  教科書 Part 2 を 使って Do you~? Yes, I do./No, I don't.の意味と用 法を理解し、発 音練習をする。  人気のある歌手、 テレビ番組、音 楽のベスト3の 予想をたて、イ ンタビューによ ってその予想が 合っているかを 確かめる。 【終末】				・活動の観察 (態度面と技 能面のアド バイス・ カードを使 用)  ・活動の観察  ・活動の観察 (態度面と技 能面のアド バイス・ カードを使 用)	・態度面(声 量、聞き手 を見て、笑 顔、ジェス チャー) 音声面(発 音、強勢、 区切り) 技能面(プ ラス一文) 一般動詞の 疑問文を用 いた質問、 質問に対す る適切な答 えという視 点で机間指 導を行う。 (補助簿の 活用) ・教科書本文 の音読によ り、発音、 強勢、区切 りの定着を 確認し、個 別に教師の モデルを繰 り返さ定着 を図る。 ・個人目標の 一覧表を配 布して、イ ンタビュー を行い、同 じ目標の生 徒同士対話 を行うよう 助言する。

		対話の内容を交流し、対話の内容や視点について振り返る。				・学習プリントへの記入状況	・授業後に、補助簿の記録を確認し技能の高まりを確認する。
3	同じ趣味の生徒を見つけるために、Do you like~?, Do you play~? という表現を使って相手の意向をつかんで尋ねたり、つなぎ言葉を使って付け加えて答えたりすることができる。	<p>【導入】 Greeting English Songs Pair Talking</p> <p>【展開】 学習課題を提示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Let's find a lot of friends! ~相手の意向をつかんで尋ねたり、つなぎ言葉を使って付け加えて答えたりしよう!~</p> </div> <p>教科書 Part3 を使って Do you~? Yes, I do./No, I don't.の意味と用法を理解し、発音練習をする。</p> <p>自分と同じ趣味の生徒を見つけるために Do you play~?や Do you like~?を使ってインタビューを行い、仲間の情報を集める。</p> <p>【終末】 対話の内容を交流し、対話の内容や視点について振り返る。</p>				<p>・活動の観察 (態度面と技能面のアドバイス・カードを使用)</p> <p>・活動の観察</p> <p>・活動の観察 (態度面と技能面のアドバイス・カードを使用)</p> <p>・学習プリントへの記入状況</p>	<p>・前時までの補助簿の記録をもとに机間指導を行い、繰り返し発音させる部分練習により、発音や強勢の定着を図る。(補助簿の活用)</p> <p>・技能の定着が必要な生徒の近くでモデルを示し、発音、強勢、区切りの定着を促す。</p> <p>・個人目標の一覧表を配布して、インタビューを行い、同じ目標の生徒同士対話を行うよう助言する。</p> <p>・授業後に、補助簿の記録を確認し技能の高まりを確認する。</p>
4 本時	自己紹介を行うためには、自分の好み等について表現し、それらに関連したことについて聞き	<p>【導入】 Greeting English Songs Pair Talking</p> <p>【展開】 学習課題を提示</p>				<p>・活動の観察 (態度面と技能面のアドバイス・</p>	<p>・前時までの補助簿の記録をもとに机間指導を</p>

	<p>手に尋ねればよいことが分かり、正しく話したり、適切に質問したりすることができる。</p>	<p>する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Let's do our self-introductions!        ~自分の好みを表現したり、それに関する質問をしたりしよう。        ~</p> </div> <p>本時のめあてを確認する。        自己紹介のモデルを示す。</p> <p>グループ内で自己紹介の発表会とアドバイス活動を行う。</p> <p>学級内で自己紹介の発表会とスピーチに関する質問を行う。</p> <p><b>【終末】</b>        個人のめあてに関わる自己評価と相互評価、「付きたい力」に関わった教師の評価を行う。</p>				<p>カードを使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の観察</li> <li>・活動の観察 (個人目標が書かれた机列表を使用)</li> <li>・活動の観察 (態度面と技能面のアドバイス・カードを使用)</li> <li>・学習プリントと録音テープを提出</li> </ul>	<p>行い、繰り返し発音させる部分練習により、発音や強勢の定着を図る。(補助簿の活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に反応を確かめながら、示す回数を決める。</li> <li>・個人目標に関わった相互評価ができるように助言する。</li> <li>・聞き取った内容のメモを残すワークシートを準備し、机間指導により、個人目標に応じてどれだけ達成できたかという視点で指導・援助を行う。</li> </ul>
--	---	---	--	--	--	--	---

4 単位時間の授業展開例

(1) 自己紹介を行うためには、自分の好み等について表現し、それらに関連したことについて聞き手に尋ねればよいことが分かり、正しく話したり、適切に質問したりすることができる。

(2) 本時の位置  
4 / 4時

(3) 展開案

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
導 入	Greeting English Songs Pair Talking	ア - イ - ・活動の観察 ・Pair Talking の時、アドバイス・カードを使って態度面と技能面から教師が評価を行う。	・つなぎ言葉を活用しながら、大きな声で話すAさんの姿を認めることで前時まで大切にしてきた技能や態度を確認する。
展 開	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Let's do our self-introductions! ~自分の好みを表現したり、それに関する質問をしたりしよう。~</p> </div> <p>本時のめあてを確認する。 自己紹介のモデルを示す。</p> <p>グループ内で自己紹介の発表会とアドバイス活動を行う。</p> <p>学級内で自己紹介の発表会とスピーチに関する質問を行</p>	<p>ウ - ・つぶやきや発言などの教師の質問に対する反応の観察 ・自己紹介のモデルに対して質問ができたかという点について評価を行う。 イ - エ - ・活動の観察 グループによる活動状況の把握 その場での指導・援助 相互評価の内容の価値付け</p> <p>イ - ・アドバイス・カードを使</p>	<p>・笑顔で、ジェスチャーを交えながらモデルを示すとともに、積極的な反応を認めることで、めざす姿を具体的にイメージさせる。 ・自分の伝えたいところを強調しながら何回も練習し、表現の仕方に向上が見られたBさんを認めることで、繰り返し練習を促す。また、班や学級の仲間に聞いてもらうことによって表現にさらに磨きをかけるように助言する。 ・グループ内でのアドバイス活動では、相手のめあてに関わった相互評価を行うように助言する。 ・質問に対して、プラス一文することで、</p>



終末	<p>う。</p> <p>-----</p> <p>Hello, everyone. I'm Yamada Atsuko. I'm from Nagoya. Where are you from, Mr.A? (Mr.A: I'm from Gifu.) Thank you. I like reading. And I like music,too. I play the guitar. Do you play the guitar, Ms.B? (Ms.B: No,I don't. But I play the piano.) Thank you. That's all.</p> <p>-----</p> <p>仲間の自己紹介から学んだことを交流する。</p> <p>-----</p> <p>【聞き手に分かりやすいスピーチ】</p> <p>内容面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介の内容が伝わったか。</li> </ul> <p>態度面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Face to Face   ・ Speak up</li> <li>・ Gestures       ・ Smile</li> </ul> <p>音声面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発音、文強勢、区切りに留意して話す。</li> </ul> <p>技能面</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の理解を確かめながら話す。</li> <li>・ 相手の質問を理解し、質問に適切に答える。</li> <li>・ プラス1文をしてより詳しく説明をしながら話す。</li> </ul> <p>-----</p> <p>自己紹介の内容を交流し、内容面、態度面、技能面から振り返りを行う。</p>	<p>って教師が発表会の中で評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・【聞き手に分かりやすいスピーチ】という視点で机間指導の中で指導・援助を行う。</li> <li>・ 活動の観察 発表会での活動状況の把握 その場での指導・援助</li> <li>・【聞き手に分かりやすいスピーチ】という視点で相互評価を行う。</li> <li>・ 相互評価の内容の価値付け 活動の観察 相互評価への取り組みの把握</li> <li>・ 発表者について質問ができたかという点についても評価を行う。</li> </ul>	<p>内容が具体的に理解し合えることを再度確認することで、伝わりやすい話し方を意識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒による相互評価では、態度面を中心にアドバイス活動を行う。ALTの評価は、音声面を中心に、JTEの評価は技能面と内容面に関わって行う。その際、個人の本時のめあてに即して評価を行う。</li> <li>・ 「話す時のマナー」に関わって、伝えたい語や文の内容を強調したり、Look at this!等の相手をひきつけたりする話し方の大切さについても説明する。</li> </ul>
	<p>-----</p> <p>自己紹介の内容を交流し、内容面、態度面、技能面から振り返りを行う。</p>	<p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時のめあてにどれだけ迫れたかという視点で自己評価を行う。</li> </ul>	<p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本單元における「付けたい力」に関わる教師の評価を位置付ける。</li> </ul>

## 5 評価の実際と個に応じた指導事例

### (1) 本時重点的に取り上げた評価規準

イ -

好きなスポーツや自分の趣味について、大切な内容を強調して、聞き手に正しく伝わるように話すことができる。

### (2) 評価の実際

評価の方法

活動の観察

- ・ J T E や A L T が Pair talking、インタビュー活動、グループ内発表会、全体発表会の場で別紙資料のようなアドバイスカードを使って評価を行う。1年生の入門期の指導であるが故に、上述の様々な場でリアルタイムで評価を行うように配慮した。
- ・ 事前に J T E と A L T がどのグループ、生徒に対して指導・援助を行うのかを打ち合わせる。その際、個人のめあてに応じた評価を行うように確認する。

スピーチの録音テープの提出

- ・ 単元の最後に自己紹介を録音したテープを提出させ、発音、強勢、区切りという視点で J T E と A L T が学級全員のテープを聞いて評価を行う。

評価の決定

- ・ 全体発表会や録音テープの中で自分の伝えたい語を意識して強調して話していれば ( B 以上 ) と判断する。また、自己紹介のスピーチの内容に関わって聞き手が質問できれば、内容が伝わったととらえ、聞き手の様子からも達成できたと判断できる。

### (3) 個に応じた指導の実際

単元を通じた継続的な手立て

- ・ 言語材料とプラス一文の意識の定着が弱い生徒を意図して、帯活動において好きなスポーツや自分の趣味について話す Pair Talking の活動を位置付けた。その結果、文法事項の定着に必要な生徒を含めほとんど全員の生徒が I like~. I play~. という英文を、自己紹介で使うことができた。

学習環境を活用した手立て

- ・ J T E と A L T が自己紹介のモデルを提示し、強勢に対する意識が弱い生徒に対して、どの語を強勢し、どのように話せばよいかについての意識化を図った。その結果、名詞など自分が伝えたい内容に強勢を置いて話す姿が定着した。

評価を生かした手立て

- ・ 録音テープを返却する時、各自のめあてに応じたコメントと A L T のモデルスピーチを録音した。特に、強勢を意識することができない生徒にとっては、自分のスピーチと比較することができ、効果的であったようである。自分のスピーチの中でどの語を強勢して話せばよいかの理解でき、次単元の“ Show and Tell ”の活動では、強勢を意識して話す姿が見られるようになった。また、英語を話すことに抵抗をもっていた生徒も積極的に A L T に話しかけるようになった。

6 参考資料【資料1】

(1) 教師用学期の評価カード枠  
英語科 学習の記録(1学期)

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価規準	具体的な評価規準	観点別評価	
関心・意欲・態度	言語活動に積極的に取り組んでいる。 (表現について) (学習内容を示しながら)(文末は「～している。」) (理解について) (積極的、意欲的の内容を具体化する。)	A B C	A
	さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。 (表現について) (工夫の内容を具体化する。)	A B C	
表現の能力	初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちを正しく表現することができる。 (話すことについて) (以下、文末は～できる。)	A B C	A
	初歩的な英語を用いて、場面や相手、目的に応じて適切に表現することができる。 (音読することについて)	A B C	
理解の能力	初歩的な英語の情報を正しく理解することができる。 (書くことについて)	A B C	B
	初歩的な英語の情報を正しく理解することができる。 (音読することについて)	A B C	
知識・理解	言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 (聞くことについて)	A B C	A
	言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。 (読むことについて)	A B C	
知識・理解	初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。 (聞くことについて)	A B C	B
	初歩的な英語の学習において取り扱われた文化について理解している。 (読むことについて)	A B C	
知識・理解	学期に学習した「新出語句や文型」について、正しい発音や使い方の知識がある。 (聞くことについて)	A B C	A
	学期に学習した「場面や状況にふさわしい表現、強勢やイントネーションの違いなど」についての知識がある。 (読むことについて)	A B C	
知識・理解	学期に学習した「家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など」を理解している。 (聞くことについて)	A B C	B
	学期に学習した「人々のものの見方や考え方などの違い」について理解している。 (読むことについて)	A B C	

(2) 具体的な1学期の  
教師用評価カード

英語科 学習の記録(1学期)

年	組	番	氏名
---	---	---	----

評価規準	具体的な評価規準	観点別評価		
関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	言語活動に積極的に取り組んでいる。	自己紹介やインタビュー活動において、間違うことを恐れず、自分の考えなどを話している。	A B C	A
		教室英語や自己紹介を聞く活動において、うなずいたりメモをとったりするなど、相手の話に関心をもって聞いている。	A B C	
意 欲 ・ 態 度	さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	自己紹介やインタビュー活動において、不自然な沈黙をしないで話し続けている。	A B C	B
		教室英語や自己紹介を聞く活動において、理解できない時、説明を求めたり聞き返そうとしている。	A B C	C
表 現 の 能 力	初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちを正しく表現することができる。	自己紹介やインタビュー活動において、強勢、イントネーションなどの英語の音声の特徴に留意し、正しい発音で話すことができる。	A B C	A
		挨拶や自己紹介の英文を正しい姿勢、イントネーションなどを用いて音読することができる。	A B C	
	アルファベットの大文字、小文字を正しく書くことができる。	A B C	B	
表 現 の 能 力	初歩的な英語を用いて、場面や相手、目的に応じて適切に表現することができる。	自己紹介やインタビュー活動において、聞かれたことに対して適切に応答することができる。	A B C	C
		挨拶や自己紹介の英文を適切な音量で読むことができる。	A B C	
理 解 の 能 力	初歩的な英語の情報や状況を正しく理解することができる。	教室英語や身の回りの単語を聞いて、その内容を正しく聞き取ることができる。	A B C	A
		自己紹介やインタビューの説明を聞いて、その内容を正しく聞き取ることができる。	A B C	
理 解 の 能 力	初歩的な英語を場面や状況、目的に応じて適切に理解することができる。	自己紹介やインタビュー活動において、大切な部分を聞き取ることができる。	A B C	B
		教室英語による指示に対して、適切に応じることができる。	A B C	
知 識 ・ 理 解	言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。	1学期に学習した「新出語句や文型」について、正しい発音や使い方の知識がある。	A B C	A
		1学期に学習した「場面や状況にふさわしい表現、強勢やイントネーションの違いなど」についての知識がある。	A B C	B
				C

【資料 2】

単元評価表（教師用補助簿）

1年 組（ Unit3）評価規準表 話すこと

（ ）班 （ ）番 氏名（ ）

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

評価の観点	具体的な評価項目	評価
言語活動に積極的に取り組んでいる。	間違ふことを恐れなくて、教師や、多くの仲間に話しかけようとする。	
さまざまな工夫をすることで、コミュニケーションを続けようとしている。	Well や Let me see.を使って、不自然な沈黙をもたずに話し続けようとする。	
【聞くこと】	わからないことがあれば、Pardon?等の表現を使って、聞き返そうとする。	
	自己紹介に関わる質問に対して適切に答えることができる。	

【表現の能力】

初歩的な英語を用いて、自分の考えや気持ちを正しく話すことができる。	決まり文句の文強勢や伝えたい語句に強勢を置いて話すことができる。	
初歩的な英語を用いて、場面や相手に応じて適切に話すことができる。	自己紹介に関わって聞かれた質問に対して適切に答えることができる。	

【言語や文化についての知識】

言語や言語の運用についての知識	自己紹介を行う時の決まり文句や発音の仕方が理解できる。	
文化についての理解	初対面の相手とよりよい関係を築くには、自分のことをできるだけ理解してもらえよう、自分が話すことが大切であることが分かる。	

1時間ですべての観点を評価することは不可能である。活動の場面で観点を一つに絞って達成度を 及び で評価し、記録を累積していく。

【資料3】

態度面・音声面・技能面のアドバイスカード

*Advice for you! (態度面)*  
To ( )  
*From your English teacher*

Face to Face  
Speak Up  
Geatures  
Smile

*Advice for you! (音声面)*  
To ( )  
*From your English teacher*

発音  
強勢  
区切り

*Advice for you! (技能面)*  
To ( )  
*From your English teacher*

Do you understand? O.K?  
Answer the questions  
+ one sentence